



## 2019年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社ASIAN STAR  
 コード番号 8946 URL <http://www.asian.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月8日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 東 和雄  
 (氏名) 梶間 友秀  
 TEL 045-324-2444

(百万円未満切捨て)

### 1. 2019年12月期第3四半期の連結業績(2019年1月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年12月期第3四半期	1,676	34.4	14	75.2	0	99.5	17	
2018年12月期第3四半期	2,554	91.0	57	7.6	55	28.6	52	96.4

(注) 包括利益 2019年12月期第3四半期 24百万円 ( %) 2018年12月期第3四半期 44百万円 (32.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年12月期第3四半期	1.00	
2018年12月期第3四半期	2.94	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2019年12月期第3四半期	3,820	1,983	51.9	110.63
2018年12月期	4,139	2,008	48.5	112.02

(参考) 自己資本 2019年12月期第3四半期 1,983百万円 2018年12月期 2,007百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年12月期		0.00		0.00	0.00
2019年12月期		0.00			
2019年12月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2019年12月期の連結業績予想(2019年1月1日～2019年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,294	26.7	53		74		95		5.30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年12月期3Q	18,008,200 株	2018年12月期	18,008,200 株
期末自己株式数	2019年12月期3Q	83,200 株	2018年12月期	83,200 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年12月期3Q	17,925,000 株	2018年12月期3Q	17,925,000 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7
(重要な後発事象)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2019年1月1日～2019年9月30日)における我が国経済は、消費税率引上げなどの影響を受けつつも極めて緩和的な金融環境や政府支出による下支えなどを背景に、基調としては緩やかな拡大を続けております。一方で、米国のマクロ政策運営やそれが国際金融市場に及ぼす影響、英国のEU離脱交渉の展開やその影響等、海外経済を巡る下振れリスクは高まりつつあるとみられ、今後の日本の企業や家計のマインドに及ぼす影響は今後も注視が必要であるものと思われまます。

当社グループが属する不動産業界におきましては、相次ぐ自然災害等の影響により不動産取引への消極的なマインド増加などの懸念材料は残るものの、首都圏における戸当たりの単価は緩やかな上昇を継続するなど、不動産需要は変わらず持続しており、不動産市況は概ね堅調に推移しているものと思われまます。

このような事業環境のもと、当社グループは不動産管理事業を事業領域の中心に据え、それに関連する不動産仲介事業、不動産賃貸事業の更なる収益向上及び不動産販売事業の業容拡大を目指してまいりました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,676百万円(前年同四半期比34.4%減)、営業利益14百万円(前年同四半期比75.2%減)、経常利益0百万円(前年同四半期比99.5%減)、親会社株主に帰属する四半期純損失17百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益52百万円)となりました。

## (不動産販売事業)

前第3四半期連結累計期間にレジデンス2棟の引渡しがあったのに対し、当第3四半期連結累計期間はレジデンスの引渡しがなかったことから、売上高は780百万円(前年同四半期比53.6%減)、営業利益は10百万円(前年同四半期比63.7%減)となりました。

## (不動産管理事業)

中国におけるサービスアパートメント事業において、既存管理物件の管理料が、第1四半期連結会計期間より減額されたことなどにより、売上高は314百万円(前年同四半期比7.2%減)、営業利益は116百万円(前年同四半期比19.8%減)となりました。

## (不動産賃貸事業)

前年同四半期に比べ、新たなレジデンスが加わったことにより家賃収入が増加したことから、機械装置等の修繕の発生などはありましたが、売上高は387百万円(前年同四半期比4.9%増)、営業利益は47百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。

## (不動産仲介事業)

前期から引き続き積極的な営業活動を行ったこと等により堅調に推移し、売上高は185百万円(前年同四半期比12.4%増)、営業利益は73百万円(前年同四半期比34.3%増)となりました。

## (その他の事業)

当該事業につきましては、第2四半期から投資事業を開始しており、売上は7百万円、営業利益は1百万円となりました(前年同四半期は、該当する事業がなく、売上、営業損益とも未発生)。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産、負債及び純資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ319百万円減少し、3,820百万円となりました。これは主に、現金及び預金の減少192百万円、販売用不動産の減少280百万円及び投資不動産の増加175百万円によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ294百万円減少し、1,836百万円となりました。これは主に有利子負債が192百万円減少したことによるものであります。

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ24百万円減少し、1,983百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年12月期の業績予想につきましては、2019年8月30日に公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」における業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、業況の変化などにより予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	1,055,680	863,438
受取手形及び売掛金	93,869	73,141
商品及び製品	4,501	4,398
販売用不動産	558,180	277,550
仕掛販売用不動産	330,623	306,774
原材料及び貯蔵品	2,041	1,869
営業投資有価証券	—	51,377
未収還付法人税等	3,043	757
その他	42,303	44,457
貸倒引当金	△12,473	△8,213
流動資産合計	2,077,771	1,615,550
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	111,358	108,356
減価償却累計額	△65,501	△73,687
建物及び構築物(純額)	45,857	34,669
車両運搬具	1,605	1,605
減価償却累計額	△1,168	△1,278
車両運搬具(純額)	436	327
工具、器具及び備品	46,114	46,010
減価償却累計額	△37,824	△39,883
工具、器具及び備品(純額)	8,290	6,126
土地	13,147	13,147
リース資産	2,899	2,899
減価償却累計額	△2,560	△2,899
リース資産(純額)	338	—
有形固定資産合計	68,070	54,270
<b>無形固定資産</b>		
のれん	41,954	33,575
その他	1,540	1,425
無形固定資産合計	43,494	35,000
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	18,150	8,533
繰延税金資産	18,212	17,956
投資不動産	2,142,621	2,344,995
減価償却累計額	△266,792	△293,561
投資不動産(純額)	1,875,828	2,051,433
その他	39,622	39,300
貸倒引当金	△1,440	△1,440
投資その他の資産合計	1,950,374	2,115,783
固定資産合計	2,061,939	2,205,055
資産合計	4,139,710	3,820,606

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2018年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	73,189	24,505
短期借入金	444,100	286,500
1年内返済予定の長期借入金	59,278	139,382
前受金	142,719	138,981
未払法人税等	17,521	13,113
賞与引当金	—	3,767
預り金	274,692	263,182
その他	92,314	58,523
流動負債合計	1,103,815	927,956
固定負債		
長期借入金	793,760	679,236
退職給付に係る負債	24,034	27,252
長期預り保証金	209,399	202,262
固定負債合計	1,027,194	908,751
負債合計	2,131,010	1,836,707
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,931,218	1,931,218
資本剰余金	123,647	123,647
利益剰余金	71,259	52,956
自己株式	△99,912	△99,912
株主資本合計	2,026,213	2,007,910
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,548	△2,806
為替換算調整勘定	△15,774	△22,016
その他の包括利益累計額合計	△18,322	△24,822
新株予約権	810	810
純資産合計	2,008,700	1,983,898
負債純資産合計	4,139,710	3,820,606

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
売上高	2,554,770	1,676,242
売上原価	2,146,388	1,298,421
売上総利益	408,381	377,820
販売費及び一般管理費	351,174	363,643
営業利益	57,206	14,177
営業外収益		
受取利息	3,790	3,269
貸倒引当金戻入額	4,498	462
その他	5,055	2,334
営業外収益合計	13,344	6,066
営業外費用		
支払利息	6,697	8,700
支払手数料	3,623	1,189
為替差損	3,874	10,074
その他	476	25
営業外費用合計	14,671	19,989
経常利益	55,879	254
特別利益		
違約金収入	16,287	—
特別利益合計	16,287	—
税金等調整前四半期純利益	72,166	254
法人税、住民税及び事業税	18,421	17,921
法人税等調整額	1,109	255
法人税等合計	19,530	18,176
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,635	△17,922
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	52,635	△17,922

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年1月1日 至 2018年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	52,635	△17,922
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△114	△257
為替換算調整勘定	△8,404	△6,242
その他の包括利益合計	△8,519	△6,499
四半期包括利益	44,116	△24,422
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	44,116	△24,422
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(賞与引当金の計上基準)

従業員の賞与の支給に備えるため、支給見込額に基づき計上しております。

なお、連結会計年度末においては、連結会計年度末までの支給対象期間に対応する賞与は、確定賞与として処理することとなっているため発生いたしません。

(販売用不動産の保有目的の変更)

販売用不動産の一部について、販売から賃貸へ保有目的を変更したことに伴い、販売用不動産196,230千円を投資不動産に振替えております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年1月1日至2018年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産 販売事業	不動産 管理事業	不動産 賃貸事業	不動産 仲介事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	1,680,819	338,700	369,802	165,447	2,554,770	—	2,554,770	—	2,554,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	53	163	5,862	6,079	—	6,079	△6,079	—
計	1,680,819	338,753	369,966	171,310	2,560,849	—	2,560,849	△6,079	2,554,770
セグメント利益又は 損失(△)	29,831	145,394	45,085	54,488	274,800	—	274,800	△217,594	57,206

(注) 1. 「その他」の区分には、貸金業、設計監理事業等が含まれております。なお、その他事業として営んでおりました貸金業、設計監理事業等につきましては、前連結会計年度中に事業を廃止しております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△217,594千円は、セグメント間取引消去△6,079千円、各セグメントに配分していない全社費用△211,514千円であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

(販売用不動産の引渡しによる資産の著しい減少)

第1四半期連結会計期間において、レジデンス2棟の引渡しを完了したことにより、前連結会計年度の末日に比べ、「不動産販売事業」のセグメント資産が875,562千円減少しております。

(賃貸用不動産の取得による資産の著しい増加)

当第3四半期連結会計期間において、賃貸用不動産を取得したことにより、前連結会計年度の末日に比べ「不動産賃貸事業」のセグメント資産が621,031千円増加しております。

## II 当第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	不動産 販売事業	不動産 管理事業	不動産 賃貸事業	不動産 仲介事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	780,471	314,180	387,961	185,976	1,668,590	7,652	1,676,242	—	1,676,242
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	1,724	180	4,997	6,901	—	6,901	△6,901	—
計	780,471	315,904	388,141	190,973	1,675,491	7,652	1,683,144	△6,901	1,676,242
セグメント利益又 は損失(△)	10,842	116,660	47,371	73,180	248,055	1,293	249,349	△235,171	14,177

(注) 1. 「その他」の区分には、当期より開始いたしました投資事業が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の調整額△235,171千円は、セグメント間取引消去△6,901千円、各セグメントに配分していない全社費用△228,270千円であります。

3. セグメント利益又は損失の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。